

GruppeM INDUCTION BOX

HEAT SHIELD INTAKE KIT

取扱説明書

69-9001JP

ABARTH 500/595/695 (1.4 TURBO)

この度は 当製品を御買い求め頂き有難うございます。作業に入る前に右のパーツリストと照らし合わせて部品が全部揃っていることを確認してください。

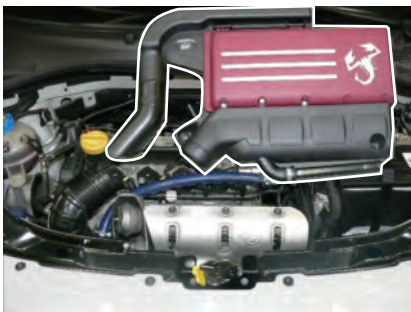
警告

- 一般公道等、歩行者や他の交通の妨げになる場所では作業しないで下さい。
- 作業中に車が動き出さないように平坦な場所でサイドブレーキ等をかけて確実に停車させて下さい。また、エンジンキーを抜きエンジンが完全に冷えてから作業を開始して下さい。
- 作業を行う場合は作業に適した服装で、必要に応じて保護手袋、保護眼鏡等を使用して下さい。
- 装着後は日頃のメンテナンスを十分にを行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行って下さい。
- 表記車種以外の車に取り付ける際の加工については当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書は作業終了後も紛失しないように大切に保管して下さい。

正しいモータースポーツと暴走行為とは全く異質のものです。本製品を御利用頂く皆様に充分なる御理解と法規則にのっとった正しい使用をされる事をお願い申し上げます。

インダクションボックスの取り付け

雨天時走行での水の浸入テストは行ってありますのでご安心ください。
外気導入がダイレクトなのでフィルターメンテナンスはこまめに行ってください。



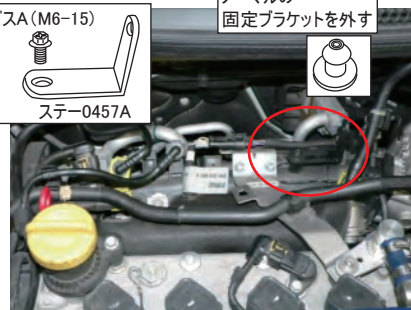
ノーマルのクリーナーボックスを全て外します。
ブローオフバルブのホースも外します。



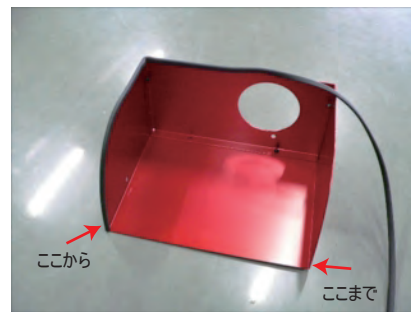
クリーナーボックスからブローオフバルブホースを外して
車輻に付属のホースバンドで取付けます。



ファンネルアダプターにフィルターを取り付け、ヒートプレートに取り付けます。ステーと共締めします。



ノーマルの固定ブラケットの先端にレンチを差し込み、ネジを緩ますように外します。(固いです)そこにステー0457AをビスA(M6-15)で取り付けます。



ヒートプレートをビスD(M3)とM3ナットで組み立てます。
側面に淵ゴムを接着剤などで貼り付けます。



ヒートプレート、フィルターをエンジンルームに配置して
込み、ネジを緩ますように外します。(固いです)そこにステー0457AをビスA(M6-15)で取り付けます。

PARTS LIST



手前側のステー0083Bはアースボルト孔に共締め固定。ステーの下に30mmスペーサーを挟んで固定します。アルミ管に付属コルゲートチューブを被せます。



ノーマルのインテークホースにアルミサクシヨンパイプ、ラバーホースで取り付けます。



パイプのニップルにブローオフバルブホースを取付け、ホースバンド#16で締め付けます。



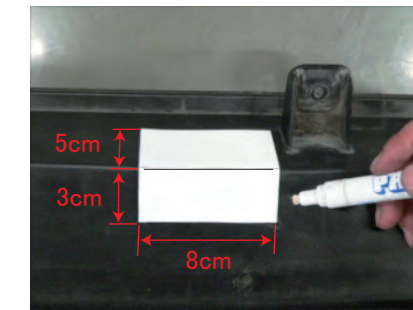
より効果的な外気導入を行うため、純正パーツを加工してエアガイドを取り付けます。
ワイパー付け根部のカウルトップを外します。



カウルトップの裏側のカバーを外します。



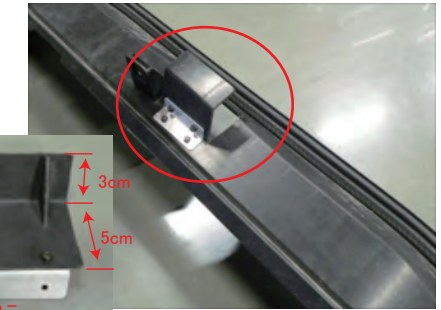
その裏側のカバーをカット加工して、エアガイドを作成します。
※この加工をする事でより効果的な外気導入が可能となります。



8cm四方の型紙を作り、3cmの所に線を引きます。
折り目と線を合わせてカットラインを書きます。
位置は写真を参照。



切り取った樹脂パーツはエアガイドとして再利用しますので、きれいにカットしてください。
切り取った樹脂パーツにφ4の孔を開けてステーを取り付けます。(M3ビス、ナット使用)



写真を参照してφ4の孔を開けて、樹脂パーツを取り付けます。これでエアガイドは完成です。



エアガイド部が引っ掛かるので回転させるように配置させます。



エアガイド部がボディと干渉しないか確認します。
カウルトップを元のように取り付けます。



各部ホースバンドの締め付け、ステーの増し締め固定を行います。カウルトップの孔から外気を効率よく導入します。

GruppeM INC. 株式会社 グループ・エム

〒351-0015 埼玉県朝霞市幸町3-12-24 Tel.048-450-2911 FAX.048-450-2912
http://www.gruppem.co.jp

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。